

様式 A-1
(FY2020)

令和 2 年 12 月 24 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 千葉市立千葉高等学校 ・ 渡邊 哲文
2. 講師氏名: Dr. Mohammed Auwal IBRAHIM (Mr)
3. 講義補助者氏名: 山崎 和彦 先生
4. 実施日時: 令和 2 年 12 月 23 日 (水) 13:30 ~ 15:30
5. 参加生徒: 1年生 37 人、 2 年生 53 人、 3 年生 0 人 (合計 90 人)
備考: 理数科の生徒、普通科SSHコースの生徒及び物理化学部の生徒
6. 講義題目: Cooperation of Japan and Nigerian Scientists towards the discovery of new drugs
7. against tropical diseases
8. 講義概要:
9. 講義形式:
 - 1) 講義時間 100 分 質疑応答時間 20 分
 - 2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講義
 - 3) 事前学習
 有 ・ 無 (どちらかに○をしてください。)
使用教材 講師からの講演要旨と要旨から想像される研究内容の説明プリント(自作)
10. その他特筆すべき事項:

特になし

様式 A-4

サイエンス・ダイアログ アンケート(参加校の先生)

この度は、本事業へのご参加ありがとうございました。今後の本事業の運営方法等の参考とするため、下記の内容にご回答ください。

1. 本事業に参加した理由を教えてください。
(SSHのグローバル人材育成に向けた取り組みを実現するため。)
2. 事前打ち合わせについて
コミュニケーション方法を教えてください。(複数回答可)
1) 2回以上面談 1回面談 メール 電話
 その他()
2) 直接講師と 講義補助者を介して 高校の英語教諭の協力
 その他()
打ち合わせ内容を教えてください。
(講演会の趣旨説明、講演要旨の確認、生徒の英語レベルの確認、学校の場所・設備の確認)
3. 生徒は、講義における英語をどの程度理解できたと思いますか？
 理解できた。 ある程度理解できた。
 あまり理解できなかった。 全く理解できなかった。
4. 講義における研究関連についての説明の難易度はいかがでしたか？
 専門性が高く、難解だった。 ちょうど良かった。
 より専門的な内容を講義してほしかった。
5. 事前学習は行いましたか？
 行った(具体的な内容: 講演要旨と講演内容に関わるプリントの配布。)
 行わなかった
6. 今回の講義は生徒にどのような効果があったと思いますか？
・普段触れることがないナイジェリアの文化を知ることができて、知見が広がった。
・授業で聴いている綺麗な英語ではなく、ネイティブ(自然)な、リアルな英語に触れられたことで、英語に対する考え方の視野が広がった。
・科学者は広くいろいろな国で研究しているなどを知ることができた。
7. 全体として、今回の講義はいかがでしたか？
 良かった 普通 良くなかった
- 良かった点、良くなかった点を具体的に教えてください。
・動画を流して興味を引きつける点は良かった。
・コロナウィルスやSDGsに近い内容が良かった。
・色々な表現で言い換えをしており、生徒自身がプレゼンテーションを行う際の手本となった。
・英語のなまりがやや気になった。 ・スライドの図や字が小さかった。
8. 本事業について、お気づきの点や感想などがありましたら、お書きください。
・科学者たちが直面している問題等についての話が聞ければさらに良くなると思う。
・難しい内容であったが、熱心に説明し理解してもらおうと話してくれたのには感心した。
・研究発表や英語学習において、生徒たちへの動機づけには大変効果的な事業だと思います。
9. 再度、本事業を活用したいと思いますか？
 是非活用したい 機会があれば活用したい 活用したくない

* ご協力ありがとうございました。

日本学術振興会 (JSPS)